

IV. アンケート自由意見

IV. アンケート自由意見

1. 事業所自由意見

◆女性の雇用管理や活躍推進などについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

- ・子育てと仕事の配分が難しくなっている。親が子どもに関わる負担が増えており、学校で子どもの自主性に任せていたことも親のサポートが必要になっている。中学校の対外試合など子どもたちが調べて自分で行けば良いと思うが、親が車を出す、そのための集まりなどがある。子育て中のPTA役員が大変で管理職どころではないという女性社員もいる。仕事に集中できる学校教育も必要と感じている。(製造業)
- ・パワハラ対策に悩みがある(上位者によるもの)。(製造業)
- ・力仕事に関しては男性が活躍するが、それ以外は能力で判断するものと認識している。(製造業)
- ・女性活躍には心掛けるが、それなりの能力や資質が必要。(卸売業、小売業)
- ・パワハラやセクハラについて意識が低い事業所向けに「こんなことしていませんか?」というような告知物があれば配布してほしい。(卸売業、小売業)
- ・女性、女性と声を大にしていく必要はない。優秀な人が管理職になれば良い。(卸売業、小売業)
- ・女性の雇用に関しては積極的に採用していきたいと考えているが、経験値の必要な仕事が多く、重い荷物の運搬作業もあるなど戸惑っている。(卸売業、小売業)
- ・本校は女性職員が多数を占めており、管理職も女性が多い。社会一般の女性管理職に対する意識が改善されると良い。(教育、学習支援業)
- ・大企業や一部の企業だけが実施可能な政策ではなく、すべての企業が取り組める、導入しやすい仕組み等を期待している。少子化や待機児童等も現実に沿ったものを望む。この点が上手く連動しないと、男女共同参画社会の実現はないものと思っている。大勢の人が転入してくる、そんな市にしてもらえたら嬉しい。(サービス業)

2. 従業員自由意見

◆女性が働くことに関して、ご意見や日ごろ感じていることなど、何でも結構ですので自由に記入してください。

男女平等	育児・介護休業等	性別役割分担意識の払拭	意識改革
27	24	23	17
行政に望むこと	雇用環境や社会に対する要望	その他	合計
7	39	12	149

自由回答欄にお寄せいただいたご意見・ご要望の一部を紹介します。

意見が多岐の分野にわたっているものについては、主な分野に掲載をしています。

(1) 男女平等に関すること

- ・女性は出産できるが男性はできない等、どうしても性差はある。差別はなくしてほしいが、何でも平等にはお互い首を絞めることになる。性差を考慮した上でのシステム作りが必要。(女性/30代/70~99人/卸売業、小売業)
- ・採用面接の際に「彼氏はいるか」等問われた。女性というだけで「いつか辞める」と最初から期待されていない。なぜ女性だけが結婚や出産をしたら環境が変わり、仕事を休まなくてはならないのか。男性も結婚や育児で環境は変わる。当事者であり、責任も一緒だと思う。(女性/30代/70~99人/卸売業、小売業)
- ・働く場所にもよるが女性と男性では腕力や体力が違うため、差別ではなく区別が生じることは仕方ない。女性の労働というより、男性を含めた全体的な改革が必要。(男性/40代/70~99人/学術研究、専門・技術サービス業)
- ・男女雇用機会均等法であって男女の仕事と同じにすることは違うと思っている。性別による違いは当然あるので、できること、できないことがあるのは当然。今の時代、「性別差」というより「個人差」の部分が大きいと思う。(女性/40代/200人以上/製造業)
- ・正社員の中途採用で就職活動をしているとき、面接で「将来、結婚する予定はあるか」「出産する予定はあるか」「結婚したら仕事はどうしたいか」という質問が多々あった。その質問の答えで合否が決まるのかと思うと男女差別を感じる。(女性/50代/200人以上/卸売業、小売業)
- ・体力的に重労働でなければ、男女の仕事は区別しないで同等に働くべきである。(男性/66歳以上/30~49人/製造業)

(2) 育児・介護制度等に関すること

- ・女性が働きやすい環境になってきていると思うが、会社に託児施設などがあれば時間のロスがなくなりストレスや肉体的疲労も減ると思う。男性の育休制度がもっと広がると良い。(女性/30代/100~149人/医療・福祉)
- ・現在、管理職だが独身。自分がもし家庭があり、子育てをしていたら両立はとても無理だったと思う。両立が可能になるよう制度の充実を図ってほしい。(女性/40代/10~29人/不動産業、物品賃貸業)

- ・子どもの行事や急な体調不良で休みや早退が多く、他の人に迷惑をかけて申し訳なく思い、肩身が狭い。子どもがいる、いないに関わらず平等に休めると良いと思うが現状難しい。制度というより気持ちの問題かもしれない。(女性/40代/70~99人/製造業)
- ・女性が外に出て働くことは良いことだと思うが、やはり子育てや介護等、女性に多くの負担がかかるため、保育や介護制度の促進が不可欠。(女性/50代/150~199人/運輸業、郵便業)

(3) 性別役割分担意識の払拭に関すること

- ・電話をとる、お茶出しをする、出張のお土産を配るなどなぜ女性社員がしなければならないのか疑問。そうした風潮がなくなってほしい。ささいなことかもしれないが日々積み重なっていくと結構なストレスになる。(女性/20代/200人以上/卸売業、小売業)
- ・「子育てや家事は女性がやること」という考え方が根強く残っていると感じる。残業や祝日出勤すると「母親が…」「そこまでする？」という声も届く。自分の実家が遠いと頼れる人も少ないのでいろいろ抱え込んでしまう。(30代/女性/50~69人/製造業)
- ・子どもを産むときに仕事を続けるべきか、辞めるべきか悩む女性が多い。自分が働いている職場は男性主体であり、女性が活躍しづらい。「女性はやる気がない」等の発言を聞くことがあり嫌な気持ちになる。コピー取りやお茶出し等女性にやらせることがまだまだ多い。(女性/30代/200人以上/製造業)
- ・他の仕事内容は同等なのに、女性だけにお茶出し、電話対応、台所(給湯室)の掃除を任せられることが不満を感じる。男性はなぜやらないのか。(女性/30代/200人以上/卸売業、小売業)
- ・「雑用は女性の仕事」と思っている男性管理職が多い。コピーやFAX送信など単純な事務作業は各自が行えば良いと思う。(女性/50代/30~49人/製造業)
- ・仕事の時間はほとんど同じなのに、家事や育児はほぼ女性の役目のような現実を改善できれば良い。(女性/50代/50~69人/電気・ガス・熱供給・水道業)
- ・女性も社会の一員として働きたいと思っている人が多い。育児や家事は女の人がやるという考えがなくなってくれば、女性は働きやすい社会になる。(女性/50代/50~69人/建設業)
- ・家事・育児等、男性ももっと協力すべき。(男性/66歳以上/10~29人/宿泊業)

(4) 意識改革に関すること

- ・女性が働くことに関して会社の制度に不足を感じたことはあまりない。どちらかという、女性たち本人が働くことに対して意欲的ではないこと、夫となる男性側に「女性にも正規雇用のフルタイムで働いてもらい、家事・育児の負担は平等に折半」という意識を持つ人が少ないことが問題の本質のように思う。(女性/20代/200人以上/製造業)
- ・男性の意識改革が必要。そこが変わらなければ女性がいくら頑張っても変わらない。(女性/30代/70~99人/製造業)
- ・男性が仕事に逃げることをやめるべき。女性が仕事に対してプロ意識を持つべき。子育て未経験の男性や子育てに無関心に過ごしてきた男性が管理職になっていることが問題。家事、育児、介護、仕事と何でも女性に押しつけすぎ。(女性/30代/200人以上/電気・ガス・熱供給・水道業)
- ・女性自身も仕事に対する責任感、学ぶ姿勢、もし家庭の事情で休む場合、共に働く他の従業員への配慮があれば、今以上に社会で輝いていけるのではないか。男女共に活躍するためには環境はもちろんだが、1人ひとりの心の変革、日々の努力が必要だと思う。(女性/40代/10~29人/製造業)

- ・会社は性差なく評価しているが、女性がチャレンジングな仕事を敬遠している。(女性/40代/200人以上/製造業)
- ・男性・女性を区別しているのは、むしろ女性の方だと感じる。行政・社会サイドの変革よりも、女性の意識を変える方が良い。(男性/50代/50~69人/電気・ガス・熱供給・水道業)

(5) 行政に望むこと

- ・女性の働き方よりも中小企業に対する行政からのバックアップの改善が必要だと思う。セクハラ、パワハラ、マタハラなどは本人の受け取り方なので、行政がなくそうと動いても難しい。(女性/20代/70~99人/卸売業、小売業)
- ・会社のトップに対する行政の強い発言が必要と感じる。(男性/40代/30~49人/製造業)
- ・0~6歳までの支援はあるものの、7~12歳の支援は児童クラブ以外ほとんどなく、「18時まで」や「支援員不足」により入所の条件が狭い。子どもの能力によって塾や習い事に行かせたくても「就業時間」のしめつけがあり自由がきかない。行政の放課後支援がほしい。(女性/40代/100~149人/電気・ガス・熱供給・水道業)
- ・賃金、昇給、昇格の男女差をなくすためには、行政の立ち入りなどある程度の強制力がなければ何も変わらないと感じる。(女性/40代/200人以上/製造業)
- ・子育てや引っ越しを繰り返しているうちに年齢が30代を超えると再就職先を探すのが難しい。雇用創生(再就職や移住者等を主対象とし、最初は試験的に役所と企業が組んで在宅勤務もできる仕事を企画する等)があれば良いと思う。(女性/40代/200人以上/運輸業、郵便業)

(6) 雇用環境や社会に対する要望

- ・男性も子どもの病気や行事など育児のための休暇を当たり前を取得できるようになり、子どもを育てることの大変さや役割を共有していかないと社会全体の理解は得られない。子育てや介護は男女・社会すべての人に責任があるという意識を持てるような世の中になってほしい。(女性/30代/50~69人/卸売業、小売業)
- ・正当な評価を受けて仕事にやりがいを感じられれば、家事・育児の両立は大変だが、仕事を続けるモチベーションにつながる。仕事の評価基準があいまいで、家庭の事情で休まなければならない人よりも、毎日出社できる独身・単身の人が評価されやすいことに不公平を感じる。(女性/30代/50~69人/製造業)
- ・子育てをしながら働いているので、残業もほとんどせず、定時帰宅が多いが、周りの目は気になる。育休復帰者に対して「働けるかわからない」という視点ではなく「どのようにサポートすれば働けるのか」という視点で考えてほしい(介護も含め)。(女性/30代/70~99人/その他)
- ・子育てが終わった人が社会復帰しやすい制度をもっと整えていくべきだと思う。(女性/30代/100~149人/製造業)
- ・女性でも全員が管理職にならなくてはいけないことはない。いろいろな価値観があつてよく、それが実現しやすい社会になってほしい。ただ、会社がより良くなっていくためには女性の管理職も必要。自信がなくて管理職になることに躊躇してしまわない環境づくりが必要。(女性/30代/200人以上/運輸業、郵便業)
- ・働き方改革で労働時間は短くされるが、仕事量は減らないためストレスが多い。根本的な改革が必要だと感じる。(女性/50代/10~29人/生活関連サービス業、娯楽業)

- ・定年後の再雇用について、女性社員は今の状況では考えられない。65歳まで働くことが当然のようになっている男性社員とは同じ会社なのにまったく違う。(女性/50代/70~99人/建設業)

(7) その他

- ・子どもの都合で早退や遅刻、休みが多くなりがちだが周囲の理解を得て、あまり気兼ねせずに休暇を取れる環境であってほしい。女性も権利ばかり主張しないで周りと同調していただけが良い。(女性/40代/50~69人/卸売業、小売業)
- ・権利も主張も大切だが、義務を果たさずに意見を言う人が多い。(男性/40代/70~99人/建設業)
- ・家族はもちろん、職場内でも協力や理解があって働いている。そのことを当たり前だと思わないで努力することが大切。(女性/40代/100~149人/製造業)
- ・女性はこうあるべきという固定概念をなくすためには、幼いころからの教育が大切。就職後に考えを改めることは難しいので学生時代の教育から改革する必要がある。(女性/40代/150~199人/卸売業、小売業)
- ・能力が役職に見合わないのに、他へのアピールのために女性を登用したり、無理に女性を昇進させている企業や役所が多いと感じる。(女性/40代/200人以上/卸売業、小売業)